記者発表資料

平成２１年 ３月 ６日
宮城県
栗原市
陸上自衛隊東北方面隊
東北地方整備局

大規模災害に備え防災関係機関の連携を強化します。
◇栗原市内被災箇所上空の合同視察を実施◇

東北地方整備局では日頃より関係機関との間で画像情報をはじめとする情報の共有を行い連携を行っているところですが、この度、岩手・宮城内陸地震の被災地である栗原市内の河道閉塞箇所について融雪期は土砂崩落等が懸念される時期であることから、自治体及び関係機関による合同視察を実施し、防災面での連携強化を図ります。

１．実施日時　**平成２１年３月１１日（水）**
（当日は、気象条件、災害の発生等により飛行を中止する場合があります。）

（１）飛行実施の場合
１）ヘリコプター視察飛行・・・・・・・・・ １０:００～１１:３０
２）参加機関への現況報告・・・・・・・・・ １１:４５～１２:００
場所：霞目飛行場内会場
内容：・防災面での連携強化について
・河道閉塞状況について

（２）飛行中止の場合
１）参加機関への現況報告・・・・・・・・・ １０:００～１０:４０
場所：霞目飛行場内会場
内容：同上

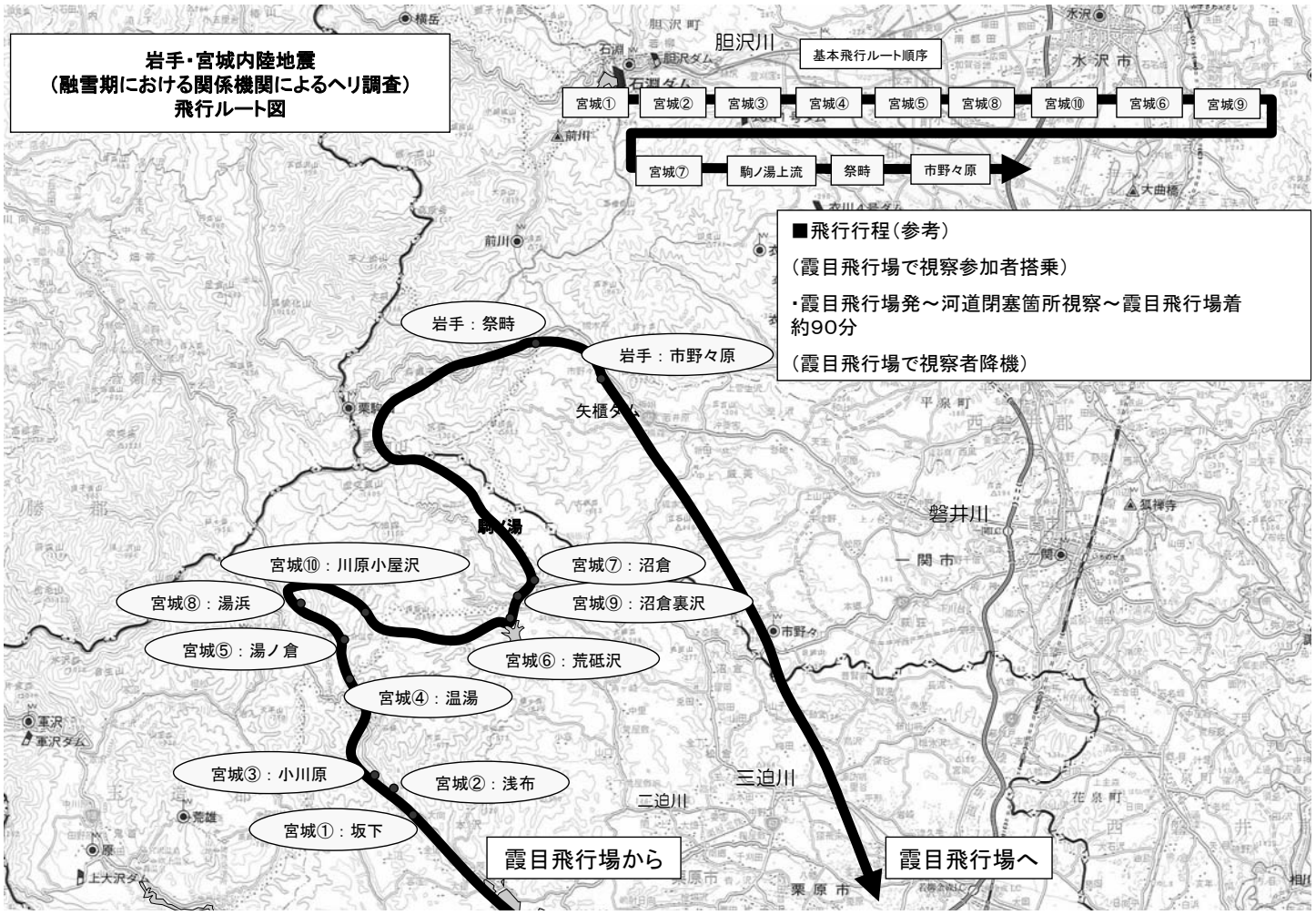
２．飛行ルート　陸上自衛隊霞目飛行場 → 栗原市河道閉塞箇所 → 陸上自衛隊霞目飛行場

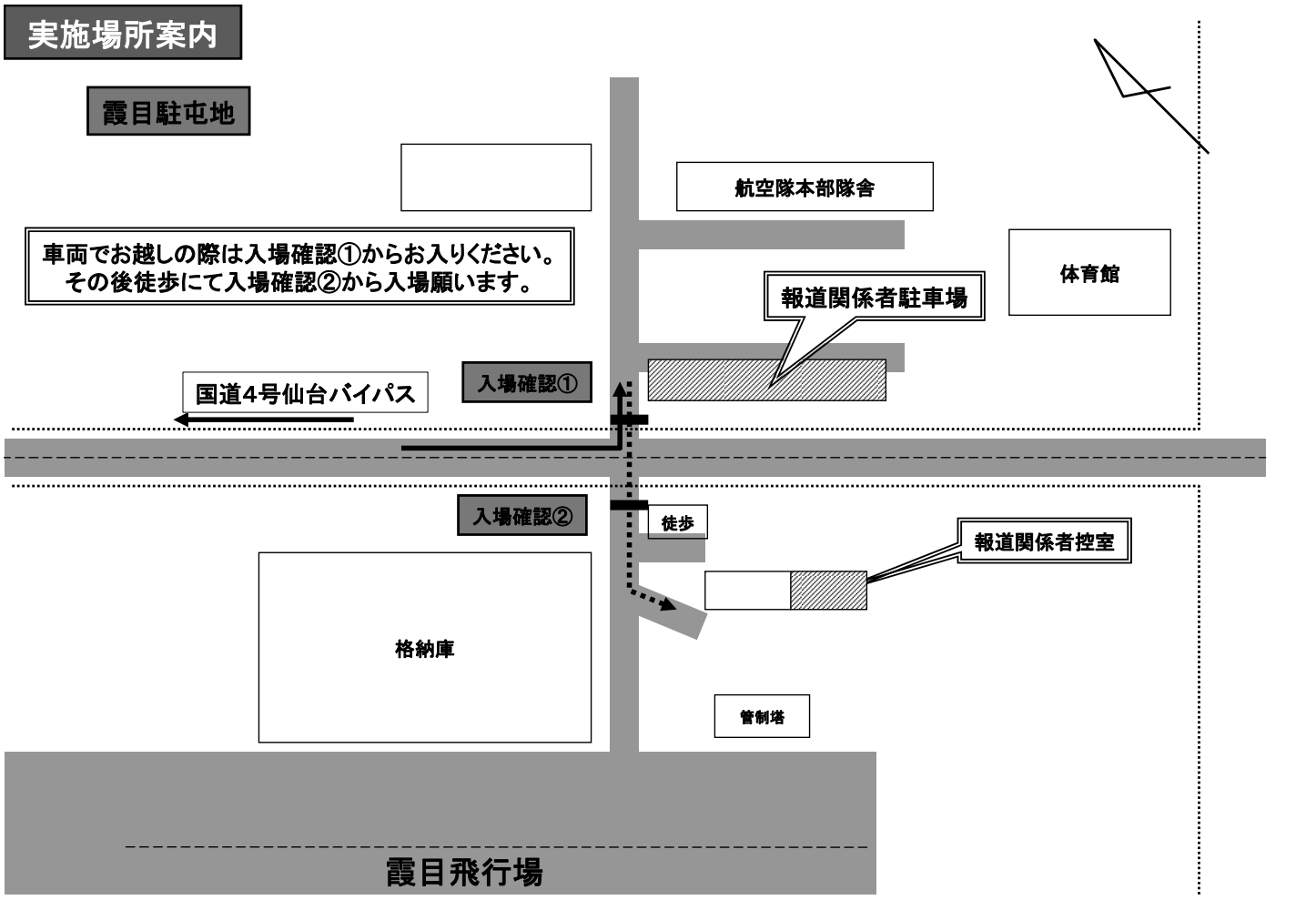
３．合同視察者　宮城県知事、栗原市長、陸上自衛隊東北方面総監、東北地方整備局長

※報道関係の皆様へ.
（１）飛行中のヘリコプターからの映像は報道関係者控室で視聴できます。
（２）現況報告は取材できますので、案内に従って会場にお入りください。
（３）現況報告に対する質問等については、終了後に担当者が対応いたします。
（４）**当日の霞目飛行場への入場手続きをスムーズに行うため事前の申請をお願いいたします。**
平成２１年３月９日(月)１６:００までにご連絡願います。
受付：東北地方整備局　企画部防災課　TEL022-225-2171（内線3431）

＜記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ＞

問い合わせ
東北地方整備局　電話：022-225-2171（代表）
企画部　防災対策官　熊谷　順子（内線3125）
企画部　防災課長　松井　幸一（内線3411）


岩手・宮城内陸地震
（融雪期における関係機関によるヘリ調査）
飛行ルート図
基本飛行ルート順序
宮城①
宮城②
宮城③
宮城④
宮城⑤
宮城⑧
宮城⑩
宮城⑥
宮城⑨
宮城⑦
駒ノ湯上流
祭畤
市野々原
■飛行行程（参考）
（霞目飛行場で視察参加者搭乗）
・霞目飛行場発～河道閉塞箇所視察～霞目飛行場着
約90分
（霞目飛行場で視察者降機）
岩手：祭畤
岩手：市野々原
宮城⑩：川原小屋沢
宮城⑦：沼倉
宮城⑧：湯浜
宮城⑨：沼倉裏沢
宮城⑤：湯ノ倉
宮城⑥：荒砥沢
宮城④：温湯
宮城③：小川原
宮城②：浅布
宮城①：坂下
霞目飛行場から
霞目飛行場へ
胆沢川
水沢市
磐井川
一関市
三迫川
二迫川
栗原市


実施場所案内
霞目駐屯地
航空隊本部隊舎
車両でお越しの際は入場確認①からお入りください。
その後徒歩にて入場確認②から入場願います。
体育館
報道関係者駐車場
国道4号仙台バイパス
入場確認①
入場確認②
徒歩
報道関係者控室
格納庫
管制塔
霞目飛行場